

新年のスタート!それぞれの抱負を!

せんざい いちぐう 千載一遇

松城中学校
1月17号

発行
校長 宮城裕子



目標 自ら考え、個性を研ぎ
創造性豊かに
力強く生きる生徒

一学期後半開始に向けて

校長挨拶全文

明けましておめでとございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。二〇二四年がスタートしました。

年初にあたり、3つのことについてお話します。一つ目は今年の干支、二つ目は新札、三つ目は二学期の始業式でお話した3つのお話についてです。

まず、今年の干支は辰(たつ)です。『辰年(竜)』は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、①出世や権力に大きく関わる年、②活力旺盛になって大きく成長し形がととのう年だといわれています。大きく成長する年にしましょう。

次に新一万円にデザインされている渋沢栄一さんについてです。本年七月三日から3種類

の新たな紙幣の発行を始めるとの発表があったことをご存じですか。今年、皆さんが手にしたであろうお年玉、ピン札でしたか?!(新札デザイン発行により旧紙幣となる現紙幣の印刷中断!)

渋沢栄一さんは、2021年のnhk大河ドラマで上映された「晴天を衝け」の主人公(配役吉沢亮)でした。日本の近代経済社会の基礎を築き、実業界のみならず社会公共事業にも多くの業績を残した人物です。その人が生涯大事にしていたという「忠恕」という言葉は私の座右の銘でもあるのです。「忠恕」とは、論語の中にある言葉で、「真心と思いやりがあること」「誠心誠意」を表しています。渋沢栄一は、生涯を貫いて「忠恕」を大切にしたいと言われています。

昨年行われたいじめに関するアンケート調査で、「いじめは悪いこと」とほぼ100%認識されていますが、人によってはある行動や発言等はいじめではないと、一人一人の感性や人間性が異なるように感じ方や受け止め方が違ってしましました。でも、新しい時代・社会を創造していくときに覚えていて欲しいこと、最も大切にしなければならぬものとして、「忠恕」「真心と思いやりがあること」「誠心誠意」を忘れない松城中生であって欲しいと願います。なぜなら変化の激しい時代の中でたとえ困難な状況に陥ったとしても、「忠恕」がきつと皆さん一人一人を導いてくれるでしょう。

〇活発で洗利とした1年生へ

第一に、学校は勉強する場であることを忘れずに、「教えてもらう」だけでなく「自ら学ぶ」です。自ら学び、考え、進んでしっかり自学に励むこと

第二に、根気強くたくましく、自分の夢や目標に向かって成長すること

第三に、中学生として自分で正しく判断し行動すること、他者の声に素直に耳を傾ける人間性を磨くこと

〇学習面や行事等で自覚が芽生えてきた2年生&絆を深めつつ各々が目標に向かって3年生へ

第一に、1年生に対して、先輩であるみなさんが、正しい手本を示してほしいこと

第二に、2年生は3年生の「巣立ち」を支え、1年生の模範となる先輩として、松城中学校の伝統を引き継ぐこと、どの場面でも一生懸命に取り組む中堅学年としての責任、次代を担う責任を果たすこと

*3学年の先輩方は卒業まで、寄り添いながらしっかりと、確実に継承(バトンタッチ)してください。

第三に、3年生はいよいよ自分の進路を決める大切な時期、夢実現に向けて全力で頑張ること

令和5年度は残り三ヶ月を切りました。一日一日を大切に過ごしていきましょう。成長した自分、学びや育ちを実感できる時間にしていきましょう。なすべきことをしっかりと行い、自律・自立したなりたいた自分をめざして、自分自身や周りの人達を思いやることを忘れず行動していきましょう。以上年始の挨拶といたします。

令和6年1月5日

校長 宮城裕子

保護者や地域の関係者の皆様におかれましては、本年も本校の教育にご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。